

## 第三者評価結果入力シート (児童養護施設)

種別	児童養護施設
----	--------

## ①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

## ②施設名等

名称:	光の子どもの家
施設長氏名:	竹花信恵
定員:	36名
所在地(都道府県):	埼玉県

## ③理念・基本方針

- (1) 理念  
子どもが安心して暮らせる子どものための子どもの施設をめざしていく。
- (2) 基本方針
- ・子どもに家庭的な環境と関係を提供することをチームとして行っていく。
  - ・子どもが抱えている課題の理解を深め、共有する。
  - ・各機関との連携を密にしていく。
  - ・アフターケアへの取り組みを継続する。

## ④施設の特徴的な取組

- ・隔月に機関紙「光の子」を発行し、自分たちの取り組みを外部に発信。
- ・職員会議をはじめとして、各会議の活性化を目指している。
- ・より良い対応、関わりを学ぶ職員研修の充実。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2020/4/1
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2020/7/30
前回の受審時期(評価結果確定年度)	平成29年度

## ⑥総評

## ◇特に評価の高い点

①「子どものための子どもの家」として家庭的な養育支援の意識を常にもった支援が貫かれています。子どもたちと寝食を共にし、言葉通り寄り添う支援が職員の尽力と愛情により実践されています。子どもたちが安心できる・家庭に近い環境の創出は、「子どもの生活を第一に・子どもの動きを考える」という深い洞察により実現しており、何より経験豊富な職員が見本となり施設を牽引していることが大きな要因となっています。

## ②楕円型の組織によりボトムアップとコンプライアンスを意識した運営を進めています

本施設の体制図はピラミッド型ではなく楕円型により表現されており、風通し良く情報が行き交う運営に努めています。専門家からの意見を参考に適切かつ法令を遵守した運営のため、子どもをとりまく環境だけでなく社会の変化を認識した対応に取り組んでいます。またトップダウンだけでなく、職員からの意見のボトムアップを意識し、新しい運営体制の構築にあたっています。

## ③一律ではない養育支援が落ち着く空間をつくりだしています

夏季のプール、ブランコ等の遊具、スペースを確保した庭など子どもたちが健やかに成長するための環境が整えられています。また子どもたちが落ち着いて生活する空間は、自立支援会議による丁寧かつ一律でない養育方針の確立、同性支援への配慮など惜しみない労力により実現しています。

## ◇改善を求められる点

修繕・改修計画において小規模・高機能化への具体的ビジョンが示されており、そのほか必要書類の整理・予算執行・事務作業の効率化・職員育成を運営上の課題として取り上げられています。本評価を通じて下記の目標を抽出しており、「施設として新たな局面を迎える・環境への対応を果たす」中、進められています。

- 宿泊を伴う研修への参加とそのための職員配置への配慮
- 子どもの飛び出し・施設内の高低差の是正等リスクマネジメント
- 終了した運営改善委員会で定めた方針の継続
- 職員の参加希望する研修のアンケート実施と集計結果の活用
- インターネットおよび取り巻く環境の研究と対応
- 会議の効率化
- 子どもの偏食の是正と健康への工夫

## ⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価は3回目となりましたが、自分たちのふりかえりという時間ともなることができるようになりました。子どもからのアンケートには考えさせられましたが「いいたいことを言う」ことを利点としてとらえてくださり安心しました。職員の意見のバラツキも、評価のかたよりも同じようにとらえてくださいました。目の前のことに集中している現状と、これから先を考えていくことが求められていことと両方をあらためて課題として受け取ることができました。

## ⑧第三者評価結果(別紙)

## 第三者評価結果 (児童養護施設)

### 共通評価基準 (45項目) I 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
【コメント】	
「子どものための子どもの家」として家庭的な養育支援の意識を常にもった支援が貫かれている。パンフレット・ホームページには施設理念が謳われており、また事業計画、機関紙等を通してその発信もなされている。職員自身の経験をもとにした支援ではなく、ケース会議等を通して認識を統一した養育となるよう取り組んでいる。	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
【コメント】	
各種会議や研修への出席により社会福祉や地域の動向の把握に努めている。法務・税務・労務等の専門家からの意見を参考に適切かつ法令を遵守した運営のための情報収集にあたっている。子どもをとりまく環境だけでなく、社会の変化を認識しており、対応に努めている。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
【コメント】	
建物の経年劣化を考慮しながら修繕にあたっており、大規模修繕・建て替えについて計画がなされている。運営上の課題については、管理職、各寮の代表者による協議・各委員会での話し合いにて審議・検討をしている。トップダウンだけでなく、職員からの意見のボトムアップを意識し、新しい運営体制の構築に努めている。	

#### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
【コメント】	
修繕・改修計画について中長期の案が示されており、小規模・高機能化への具体的ビジョンが盛り込まれている。職員の世代交代についても中長期のスパンで進めていくことを課題としており、着実に進められるよう取り組んでいる。	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
【コメント】	
専門領域・催事・アフターケアに至るまで年度の目標や方針が明示された事業計画が立案されている。単なる行事計画とは一線を画す内容となっており、本施設の養育支援の深さや子どもたちへの思いを理解することができる。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
【コメント】 事業計画の立案・検討のスケジュールなど全職員での検討・策定の分担をもって進めており、職員のボトムアップの成果物となるよう取り組んでいる。年度終了時に総括を行い、次年度の改善や課題解決に繋げている。また一昨年から立ち上げられた運営改善委員会についても一つの通過点として方針の継続がなされている。		
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a
【コメント】 機関紙が多様な機関・方々に配布されており、地域や支援者に対して施設の取り組みが理解されるよう努めている。保護者に対しても入所時の案内、毎年度の行事の周知等により伝えており、運営への理解を深めてもらえるよう努めている。		

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
【コメント】 事業全体の進捗にあたっては、事業計画の立案→総括という流れが確立している。また特に子どもの権利擁護や適切な養育支援の実施に対してはチェックリストの活用・日々の指導を通して取り組んでいる。職員の働きについても評価と褒賞を取り入れ、モチベーションの向上に努めている。		
②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
【コメント】 スーパーバイザーによる指導や年度終了時の検証をもとに支援の方向性を一つにまとめるよう取り組んでいる。職員ひとりの力ではなく、チームとして養育支援を実践できる体制の構築を目指している。		

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
【コメント】 施設長は創立当初より業務に従事しており、支援員、副施設長を経て就任するなどあらゆる角度から施設を検証できる視野を備えている。小規模化・高機能化を目指す変革期に対して職員をまとめ、取り巻く環境の変化を見据えた対応に努めている。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
【コメント】 就業規則、経理規程を整備しており、法務等についても専門家の指導を仰ぎながら適切な運営がなされるよう指導にあたっている。また職員の補助金・加算等の知識の研鑽を進め、運営への理解を深められるよう努めている。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
養育支援力の維持・向上にあたっては経験豊富かつ在籍年数の長い職員が見本となりながら職員の育成にあたっている。子どもへの深い愛着形成を中心に養育支援を実践しており、施設長・管理職を中心にフォローに取り組んでいる。		
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
【コメント】 子どもの豊かな生活を維持しつつも、無駄のないよう節約・節制に努めている。修繕等により生活環境の維持に努めており、また業者選定にあたっては公正・適正のもと行い、適切な支出となるようチェック体制を整備している。		

### 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
【コメント】 複数の先輩職員が対応するチューター制度を導入しており、新入職員や経験の浅い職員の悩みに応えられる体制を構築している。また担当については職員の適性や成長に配慮した人員配置にあたっている。職員への配慮から離職率の低下が実現しており、安定した支援を継続できる環境が構築されている。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
【コメント】 職員の働きぶりについて応えられるよう処遇にあたっている。施設の方針を理解した職員の採用が実現しており、子どもたちの成長とともに長く働くことができる環境となるよう取り組んでいる。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
【コメント】 時間外労働、有給休暇の取得については記録と保管がなされており、適切な労務・人事管理となるよう取り組んでいる。さらに職員がゆとりをもって働ける環境づくりを目指している。		

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
【コメント】 講師を招いての内部研修を実施するなど職員の支援力向上に対して取り組んでいる。宿泊を伴う研修については参加が見送られることもあったが、体制の整備により積極的に参加できるよう努めている。		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
【コメント】 事業計画には年度の研修方針と計画が掲載されており、施設・子どもたちが抱える問題について研鑽を重ねる意識が理解できる。職員会議や毎日の打ち合わせを通じて相談できる・指導にあたる環境を整備している。		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
【コメント】 外部・内部を含めて多様かつ多数の研修に参加しており、報告書の提出等により広い視野を持ち、子どもたちへの愛情が継続されるような高い意識をもって業務に臨むことを職員に求めている。「座学だけでなくケース検討を通して」・「実際の養育支援を通して」支援力を向上させるよう取り組んでいる。		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
【コメント】 実習生の受け入れにあたっては、事業計画に取り組みを位置づけており、担当者の配置をもって次代を担う人材の成長に協力している。また海外からの学生の受け入れもなされており、子どもたちの成長に通ずるよう取り組んでいる。		

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
【コメント】 施設のホームページが開設されており、「施設の理念」・「伝えたいこと」を中心に子どもたちおよび養育への思いが伝えられている。またこれまで受審の第三者評価結果、財務状況についても公表されている。機関紙については第1号からアップデートされており、施設の歴史をたどることもできる。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
【コメント】 経理規程が整備されており、専門家への相談・内部監査の実施等を通して適切な運営に努めている。施設・法人の応援団をつくる・初心を忘れないようにすることをモットーに運営を進めている。		

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
【コメント】 創立当初よりの多大なる尽力により地域の方々および支援者からの理解を得るよう努めており、その成果を実感している。地域の方からの温かい支援は子どもたちの成長のために役立てられており、奉仕活動への参加など時間をかけた地道な貢献が実を結んでいる。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
【コメント】 学習ボランティアや習い事など多くの方々から支援を得ており、特にバザーについては学生をはじめとする参加者の協力にて開催がなされている。守秘義務を徹底し、子どもたちの安全・安心な生活が失われることのないよう配慮に努めている。募集にあたってはホームページの活用がなされている。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
【コメント】 関係機関との連携、公民館や図書館など近隣の社会資源を利用しながら地域との共生が図れるよう取り組んでいる。支援団体による職業紹介などネットワークを活かし、子どもたちの最善の利益を得られるよう取り組んでいる。		
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
【コメント】 バザー・環境整備・交流会の開催など施設の理念に賛同する支援者から多大なる協力を得ており、親睦を通して地域のニーズの把握にあたっている。地域との防災協定が締結されており、非常食の確保など地域へのできる貢献を想定した準備がなされている。		
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
【コメント】 情報を共有しながら地域を仲間として捉え、清掃活動やボランティアの受け入れをしながら地域との交流を続けている。これまでの児童福祉に資してきた経験や専門職員のもつ知識を資源として虐待防止ネットワークへの参加等もなされている。		

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
【コメント】 倫理規程、就業規則の設置をはじめ年度の事業計画において養育方針を周知している。また職員採用時にも施設の養育に対する考えを説明し、賛同を得たうえで入職がなされている。ケース会議等により方針を共有し、共通理解を深めるべく運営が進められている。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
【コメント】 子どもたち一人ひとりのスペースを確保するよう努めており、落ち着く空間・人と交流できる空間の双方を持てるよう配慮されている。また自分の物と他の物との区別をつける・他の子どもの部屋に入らないなど日々の生活から家庭的養育および個を尊重する姿勢が生活の細部に至るまで考慮されている。個人情報保護規程が整備されており、ボランティアや実習生の受け入れにあたっては守秘についての説明を施している。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
【コメント】 機関紙の発行による支援者や地域の方々への理解浸透、ホームページの開設により誰でも・いつでも見られる環境整備など情報提供がなされている。保護者に対しても一人ひとりの状況や特性を鑑みながら進めている。		
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
【コメント】 入所直後は不安を払拭できるよう言葉をかけ、何でも話してもらえ関係性の構築に注力している。児童相談所や関係機関と協力しながら家族となれるよう取り組んでいる。		
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
【コメント】 子ども一人ひとりのライフストーリーを考慮し、継続性に配慮した移行となるよう努めている。人と人との繋がりを大事にした・関係を切らないよう配慮しており、退所後も様々な相談に乗りながら子どもたちの生活を支援するよう努めている。		
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
【コメント】 日常からのコミュニケーションを通じて子どもたちの意向や要望を把握するよう努めており、子どもの変化に気づける職員の醸成に取り組んでいる。嗜好調査を定期的に行うなどなされており、本評価に伴うアンケートでも意見を延べやすい環境が整備されていることが理解できる。		

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【コメント】 苦情解決第三者委員を設置しており、相談対応体制の整備がなされている。職員と子どもたちとの信頼関係を構築し、子どもが言いづらいこともユニット全体で受け止められるよう取り組んでいる。		
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
【コメント】 意見箱の増設が図られており、プライバシーを確保したうえでいつでも子どもたちが相談できるよう環境整備を行っている。子どもたちの悩みは職員個人で抱えることなく、施設全体で取り組んでいる。		
③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
【コメント】 担当職員だけでなく、それ以外の職員が関わりを持ちながら様々な距離感で子どもたちに接する環境を整え、子どもの成長に寄り添うよう努めている。意見箱に入れられた相談等についても速やかに返事をするなど対応にあっている。		
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
【コメント】 安全管理に対する責任者を設置するなど、施設全体で子どもたちを見守る体制を整えている。施設の内と外、身体と精神等子どもたちが面する様々なリスクに対して対策を講じ、安全・安心に暮らせる家であるよう取り組んでいる。施設からの飛び出しへの対策、庭の高低差の解消、害虫の駆除などさらなる安全となるよう目指している。		
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
【コメント】 日頃よりの消毒、マニュアルの策定など衛生と清潔の維持に配慮するよう取り組んでいる。今冬からの新型コロナウイルスに対しても子ども・職員双方の対応マニュアルを作成し、感染防止にあたっている。		
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
【コメント】 備蓄・備品の整備とともに火災・通報訓練を定期で実施しており、万一の事態に備えるよう努めている。昨秋の台風による経験を経て避難方法等の確立がなされている。		

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
【コメント】 リスクマネジメント等各種ガイドラインや規程が設置されており、ファイリングされている。標準化や書面化が進められているが、根底として各家・職員の裁量を重んじた運営がなされており、ピラミッド型ではなく、楕円形の組織が形成されている。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
【コメント】 近年、各種規程・マニュアル・書式の見直しを進めており、特に自然災害に関する対応については整備に注力している。また自立支援計画の策定と見直しの流れが確立しており、職員の意見の集約と共有化をもって支援への反映に取り組んでいる。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
【コメント】 年度終わりの評価をもって自立支援計画策定、夏休み明けの変化や状況を考慮しての見直し等策定と見直しの流れが確立している。計画策定後の決定は全職員参加の会議にてなされており、事前の家会議での確認など効率化を図っているものの、惜しみなく労力や手間を子どもたちにかかる姿勢に敬意を表す。		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
【コメント】 計画の策定・見直しにあたっては闊達な議論がなされており、担当職員以外の目線を大事にした評価がなされている。20代から70代まで各年代がそろそろ職員層の厚さと多角的視野により自立支援計画の策定および日々の生活支援がなされている。		
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
【コメント】 日誌、ケース記録など生活の状況、子どもたちの様子・成長について記録する書式が整備されている。特に子どもたちの変化や日々の様子については細かな記録がなされている。増え続ける書類の保管方法については今後検討を要することを認識している。		
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
【コメント】 個人情報保護規程の設置、鍵付きの保管庫での管理等、適切な記録と保管に努めている。ファイリングについては適時行うよう指示しており、後々の記録として貴重な証となることから丁寧な記述となるよう指導している。		

内容評価基準 (25項目)

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
【コメント】 丁寧な支援・個を大事にする養育の中、子どもの自立に対する心配や考察がなされており、声の大きさなどにも検討・分析に取り組んでいる。同性による支援に配慮しており、権利が保障された生活が送れるよう努めている。	
(2) 権利について理解を促す取組	
① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
【コメント】 権利という言葉が濫用せず、自身がかげがえのない大切な存在であることを理解することに注力した養育にあっている。また権利を主張するだけでなく、自由や責任とのバランスを考えるよう取り組んでいる。	
(3) 生き立ちを振り返る取組	
① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a
【コメント】 生き立ちの整理については、児童相談所と連携しながら丁寧な対応に努めている。子どもの疑問に丁寧に応じ、否定しない説明となるよう取り組んでいる。	
(4) 被措置児童等虐待の防止等	
① A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
【コメント】 運営改善委員会による活動が終了したものの、方針や取り組みの継続にあっている。入浴等については同性の職員が支援するなど徹底化が図られている。職員の孤立、抱え込みなどを防ぎ、組織としての取り組みに注力がなされている。	
(5) 子どもの意向や主体性への配慮	
① A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
【コメント】 家庭での生活として一人ひとりが意志をもって暮らしていける環境の提供に努めている。話し合いをもって家ごとの決まりやルールが作られており、家の自治を尊重している。スポーツや習い事など子どもが興味を示すことには挑戦を支援し、主体性ある生活となるよう取り組んでいる。	
(6) 支援の継続性とアフターケア	
① A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
【コメント】 子どもの立場に立ち、「日常生活品を一緒に購入する・話をよく聞く・関わりを増やしていく」など寄り添う姿勢をもって迎え入れるよう取り組んでいる。児童相談所をはじめとする関係機関と連携し、不安な気持ちを少しでも軽減できるよう配慮に努めている。	
② A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
【コメント】 アフターケアに対しては特に困った際に手を差し伸べ、次の支援につなげられるよう・自立の妨げとならぬよう取り組んでいる。施設だけでなく、支援者・関係機関と連携し、人生を切り開いていけるようサポートに努めている。	

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a
【コメント】 職員の持つ情熱や思いが行きすぎることをないよう管理職をはじめ他の職員が相談にのりながら養育支援に取り組んでいる。職員の立場と子どもの状況の双方に鑑みながら一律の対応ではなく、家・個人を尊重しながら生活が送られている。	
② A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
【コメント】 図書・タブレットなどの寄付がなされており、それらを活用しながら子どもたちの環境整備に取り組んでいる。小舎による家庭的な養育支援が実践されており、子どもたちの精神的安定や充足がなされるよう努めている。	
③ A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
【コメント】 子どもたちと寝食を共にし、言葉通り寄り添う支援が職員の尽力と愛情により実践されている。子どもたちが安心できる・家庭に近い環境の創出を念頭に置いて職員の就業が決められており、「子どもの生活を第一に・子どもの動きを考える」という理念を実現している。先回りすることなく子どもたちが失敗も含めて経験を増やしていくことに配慮している。	
④ A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
【コメント】 夏季のプール、ブランコ等の遊具、スペースを確保した庭など子どもたちが健やかに成長するための環境が整えられている。ボランティアの協力により多様な活動がなされており、学びと遊びの双方の充足にあたっている。	
⑤ A12 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
【コメント】 起床・就寝・食事など生活リズムの構築、衛生・清潔の確保により、秩序ある生活の維持に努めている。子どもと関わりを深くできるよう考慮した職員配置・体制、縦割り制による子ども同士の関わり等一緒に生活する中で自然に醸成できる環境がつけられている。	
(2) 食生活	
① A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
【コメント】 家庭的な雰囲気のもと職員と一緒に食事を楽しんでいる。子どもたちの嗜好については把握し、栄養のバランスを考慮した食事の提供に努めている。特に高齢児の偏食や健康については献立の工夫等今後の課題としている。	
(3) 衣生活	
① A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
【コメント】 高齢児は自ら、低年齢児は職員と一緒に購入するなど好みを鑑みながら衣服の購入がなされている。子どもの趣向や意思を尊重しつつもTPO等を考慮するよう指導にあたっている。	

(4) 住生活		
①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
【コメント】 屋内は職員により日々清掃がなされている。また屋外においても庭への芝生の施しと管理、ボランティアによる除草協力など子どもたちの生活環境として相応しいよう努めている。職員が率先し、整理整頓の模範となるよう取り組んでいる。		
(5) 健康と安全		
①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
【コメント】 各診療科への受診にあたっては、同行・嘱託医の指導・検診をし、医療機関と連携しながら健康保持にあたっている。服薬等保護者からの質問に応じ、安心してもらえるよう努めている。		
(6) 性に関する教育		
①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
【コメント】 性だけでなく、自分および他者を尊重・大事にできる人格を形成できるよう指導にあたっている。研修・プロジェクト等による研鑽を推進し、タブー視することなく、オープンな議論ができる環境を目指している。		
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		
①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
【コメント】 対応の流れは確立しているものの、子ども一人ひとりへの対応は異なるため、ケース検討や医療機関・学校と連携し、丁寧な対応を図るよう努めている。複数職員による対応、レスパイトなど組織として予防できる環境構築に努めている。		
②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
【コメント】 子どもたちの情報が常に入ると見守りと配慮、職員間での情報共有に努めている。担当以外の子どもに対しても関心を持ち、施設全体で子どもたちを見守れるよう指導にあたっている。子どもたち同士のパワーバランス・職員と子どもへの距離感等配慮に努めている。		
(8) 心理的ケア		
①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
【コメント】 カウンセリング・プレイの各ルームを設置するなど環境の整備がなされている。また心理士はケース会議への参加、所見の提示がなされており、詳細な記録・プログラムの策定を通して支援にあたっている。		

(9) 学習・進学支援、進路支援等		
①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
【コメント】 学習ボランティアからの支援、勉強会の開催、学習塾の利用などより良い学習環境となるよう対応している。職員が学習を中心に指導できるよう体制への配慮もなされている。学校とは連絡会等を通じて連携を図り、学力の向上を図っている。		
②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
【コメント】 子どもたちの将来と自立を鑑み、進路決定に対して寄り添う支援に努めている。自立進学基金の創設など民間施設としての特性を意識・発揮しながら子どもたちにとって最善の選択となるよう取り組んでいる。在籍・退園後を問わず、子どもたちの意欲を引き出し、自立していけるようサポートに努めている。		
③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
【コメント】 アルバイトを通しての多様な社会経験の獲得に対しては支援をし、子供たちの成長と自立に繋げられるよう努めている。学校の決まりや部活動等を考慮しながら社会のルール、人間関係、挨拶などを学べるよう支援している。		
(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
【コメント】 家族への対応は、慎重かつ配慮に努めており、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる。食事場面の設定、一時帰宅の実施など子どもたちにとって最善となるよう調整に努めている。これまでの事例や経験を踏まえ、取り巻く環境やシステムを考慮して進めていく意向もっている。		
(11) 親子関係の再構築支援		
①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
【コメント】 家族関係の調整と連携は大きなテーマとして捉えており、方針の設定と慎重な支援に取り組んでいる。家族からの質問、家族への情報提供の仕方などそれぞれの違いを考慮しながら支援に取り組んでいる。		